

会 議 録

1 会議名

令和2年度第3回北諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・旧第2クリーンセンターの除却について（公開）
- ・「公の施設の再配置計画」の策定について（公開）

3 開催日時

令和2年7月2日（木）午後6時30分から午後7時23分

4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 白木朝雄（会長）、高橋和彦（副会長）、浦壁隆一郎、大瀧修一、大瀧 壽、大館崇雄、澤海雄一、高橋礼子、松矢 茂、室岡由美子（欠席者1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員
生活環境課：瀧本課長、久野副課長、星野係長
行政改革推進課：南雲課長、島田副課長

8 発言の内容

【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【白木会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：澤海委員、高橋和彦副会長

議題【報告事項】旧第2クリーンセンターの除却について、担当課へ説明を求める。

【生活環境課：瀧本課長】

- ・挨拶
- ・資料No.1 「旧第2クリーンセンターの除却について」に基づき説明

【白木会長】

ただいまの説明に対し、質疑を求める。

【浦壁委員】

主要工事工程表の中にアスベスト除去とあるが、旧第2クリーンセンターの施工年度からすると使用できなくなっているのでは、これはどこに使われたアスベストなのか。

また、ダイオキシンの除去とあるが、本来はダイオキシン類の除去だと思うが、飛灰が産業廃棄物として出ている以上、分析されていると思うのだが、なぜここに除去工事が出てくるのか。

地元からすると、本来ない項目が出てくるのはおかしい。旧第1クリーンセンターであれば分かるが、アスベストやダイオキシンはあってしかるべきなのかと思うが、旧第2クリーンセンターが施工された年度からすると、使ってはいけないものなのになぜ除去工事が出てくるのか。

【生活環境課：星野係長】

まず、アスベストだが旧第2クリーンセンターを整備した頃、外壁の塗材に塗料を定着させるために少量のアスベストに交ぜて施工した。こういった建物のほかにもいろいろあるが、旧第2クリーンセンターについては、事前調査で中に多少混ざっているということが確認されている。

次に、ダイオキシンだが、灰の中に含まれていないというわけではなくて、限度以下のものは埋め立て可能ということになっているので、今回除去するものについては、焼却炉の中にまだ付着している灰があるので、そういったもののダイオキシン濃度を検査して、それを除去することになっている。

【白木会長】

今の説明でよろしいか。

【浦壁委員】

アスベストが塗料の中にあるということは飛散型なのか。それとも非飛散型なのか。削っても飛散するのではないか。削るのは手で削るのか。

【生活環境課：星野係長】

そのまま削ってしまえば飛散してしまうものなので、飛散しないようにアスベスト用の薬剤があり、それを吹きかけて機械で削るが、削る時にもビニールで全部覆って作業をする。

【浦壁委員】

飛散型の対策をするのか。では、地元としたら心配はいらない。ビニールで覆って陰圧にして飛散しないようにするということか。

【生活環境課：星野係長】

工事で飛散させることはない。

【浦壁委員】

あそこに農道があるが、地元の人が近寄っても良いのか。

【生活環境課：星野係長】

可能である。

【浦壁委員】

承知した。それとダイオキシンだが、炉の中の付着というのは濃度が高いということか。発注するにあたって、生活環境課で調査はしていないのか。我々に濃度を示すことはできないのか。

【生活環境課：星野係長】

発注するにあたり調査をしている。まだこれから、作業前に分析にかける。その結果に応じて、いろいろな装備をつけなくてはならない。

【白木会長】

その都度、ダイオキシンの濃度測定をきちんとして、多分、町内会に示しているはずだ。有害無害の部分でちゃんと行政のほうで提示しているので問題ないと思う。

【生活環境課：星野係長】

焼却灰のダイオキシンはゼロにすることはできない物質で、どうしても焼却の状況によっては焼却炉の中に多少残ってしまう。

施設の外に出すときには、埋め立てが可能な濃度以下のものを出しているが、やはり焼却炉に残っているので、そういったものを除去する作業である。

【浦壁委員】

我々、東中島町内のものからすると、旧第2クリーンセンターを建てる時に、「新しい焼却炉だから、燃焼時にダイオキシンは生成されない。完全燃焼に近い状態だから、それだけ投資してあるから大丈夫だ」と言われたかと思う。だから、解体時に話が変わったことに違和感がある。地元住民からすると、それで安心したのに20年たって、「ダイオキシンは生成される」と言われても困る。それならば、もっといい焼却炉を設置すればよかったのではないかな。

【生活環境課：星野係長】

当時、説明させていただいたのは、排ガス中のダイオキシン濃度のことかと思う。

【白木会長】

焼却灰の中にダイオキシンは発生するわけで、空気、水は小さな隙間から出てくることを考えると、地元住民としては、そういう感情があって質問をしたと思うので、意識の中に入れていただきたい。

今程のアスベストの問題だが、塗料に混合して塗っているという説明だが、結露防止の部分については全く使っていないのか。

【生活環境課：星野係長】

結露対策として、鉄骨材等に吹き付けたものはない。塗料の中に混ざっているものがある。

【白木会長】

他にご意見等を求めるがなし。

— 生活環境課 退室 —

次に、議題【報告事項】公の施設の再配置計画の策定について、担当課へ説明を求める。

【行政改革推進課：南雲課長】

- ・挨拶
- ・資料No.2 「『公の施設の再配置計画』の取組について」に基づき説明

【白木会長】

資料No.2の「2 公の施設の再配置計画（個別施設計画）について」の（1）公の施設の再配置の必要性のところ、「将来予測される人口減少や収支不足の」とあるが、「収支不足」という表現はどうか。収支の収は、収入で、支は支出である。税込の場合は

歳入という言葉を使っている。

只今の報告について、質疑を求めるがなし。

— 行政改革推進課 退室 —

次に、「その他」について事務局に説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会事務局案：8月6日（木）午後6時30分から

【白木会長】

- ・次回協議会：8月6日（木）午後6時30分から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。